

12 月理学部会合日誌

26 日 (水) 14:00~15:30 主任会議

1 月理学部会合日誌

- 9 日 (水) 13:00~15:00 人事委員会
14 日 (月) 14:00~16:00 理学系研究科委員会
16 日 (水) 16:00~18:00 将来計画委員会
21 日 (月) 12:30~14:40 学部長と理職との定例交渉
23 日 (水) 13:00~16:00 教授会
24 日 (木) 15:00~17:00 アイソトープ委員会

教授会メモ

1 月 23 日 (水) 定例教授会

理学部四号館 1320

岡田要名誉教授の冥福を祈り黙禱

1. 前回議事録の承認
2. 人事異動等報告
3. 東京大学理学部規則の一部を改正する規則案についての説明, 承認
4. 人事委員会報告 (寺山)
5. 将来計画委員会報告 (黒田)

委員長には黒田教授が選出された旨報告された。

6. 49 年度概算要求に関する内示についての説明
7. 全学公開講座のテーマの募集について
8. 入試について
なお入試に関する委員を佐々木(亘), 朽津, 和田(昭)三教授にお願いすることになった。
9. 会計委員会委員の選出
岸保, 佐佐木(行美), 飯野三教授が新たに選出された(任期二年)。
小柴教授の後任として桑原教授が選出された(任期一年)。
10. 図書行政商議員
4 月から藤田教授に代って藤原教授が就任されることとなった。
11. 理学部広報委員
小堀, 清水助教授の留任
12. 人事委員会委員の選出
伊藤(清), 末元教授が選出された。
13. 50 年度概算要求について
14. 教職課程, 数学教育法, 授業時間割の変更について(竹内均)
15. 理学部新館について経過報告 (下郡山)

人 事 異 動

(助 手)	教 室	官 職	氏 名	発令年月日	異 動 内 容	備 考
	鉦 物	助 手	小 沢 徹	49. 2. 1	休 職	
	鉦 物		芳 賀 信 彦	49. 2. 1	助手に採用	
	化 学	助 手	福 見 俊 夫	49. 2. 1	休 職	

1 月 海 外 渡 航 者

教室	職名	氏 名	渡航先国	渡航期間	渡航目的
地 球	教 授	岸 保 勘三郎	オーストラリア	1. 5~1. 24	第9回 JOC 会議および JAMAP 総会出席のため
物 理	教 授	久 保 亮 五	インド	1. 9~1. 13	統計物理学国際シンポジウム出席のため
物 理	教 授	小 柴 昌 俊	ドイツ連邦共和国	1. 25~2. 3	ドイツ連邦共和国立電子シンクロトロン研究所において核物理学に関する共同研究を行なう

理 学 博 士 学 位 授 与 者

昭和 49 年 1 月 14 日付授与者

専門課程	氏 名	論 文 題 目
物 理 学	五十嵐 儀 孝	動的一静的臨界現象の場の理論, 確率過程論による研究。 ——次元, 内部自由度, ポテンシャル形の役割——
地球物理学	佐 藤 康 雄	Three-Dimensional Structure and Behavior of Planetary Waves from the Troposphere to the Stratosphere in Several Winters. (冬の成層圏, 対流圏におけるプラネタリー波の構造と振舞い)
学位規則第 3 条 2 項該当	柳 原 二 郎	正則関数族 N^+ に関する研究
同	峰 村 勝 弘	Eigenfunctions of the laplacians on a real hyperbolic space (実双曲型空間上のラプラシアン固有函数)

学部長と理職との交渉

1 月 21 日 (月) 12 時 40 分~14 時 40 分

出席者: 学部長, 評議員, 事務長ほか 3 名および理職委員長ほか 12 名。

1. 理職は前回交渉の要求項目を文書で提出し, 学部長に文書で回答するよう要求していた。学部長は, 文書にするよりも交渉の場で率直に話し合う方が有効であると答えた。理職は, 文書回答は前回の同意事項であるとしたが, 学部長の了解とに相異があったのである。意見を交換したが, 結論はもち越しとなった。

2. 臨職(とくに二種)の実態を学部長が把握してほしいとの要望がのべられた。学部長は, 独自の立場で調査し, 処置すべきことはそれに努めたいとのべた。理職は, 職員厚生費の算定に臨職が含まれていないが, このような待遇の差がなくなるよう努めてほしいと強調した。

3. 白衣を教官にも貸与するよう要求が出され, 次回までの宿題となった。

○動物学教室年報(英文)

1973 年版の刊行

広報の 5 巻 4 号で創刊号 1972 年版が紹介されている動物学教室年報(英文)の 1973 年版が刊行された。体裁, 頁数(22 頁)も前号と同じである。序文は, 教室の教官の異動や, 国際交流について大変要領よくまとめている。また各研究室毎の業績も, 冒頭に簡単な研究室史がついており, 巻頭には研究室のスナップ写真を附し読者の理解をたすけている。

お 知 ら せ

○昭和 49 年度原子炉共同利用研究の募集

日本原子力研究施設(東海研究所, 高崎研究所)の利用について募集が来ています。申込期限は 2 月 19 日, 希望者は下記に申込んで下さい。

申込先: 東京都文京区弥生 2 丁目 11 番 16 号 (〒113)

東京大学原子力研究総合センター

原研施設共同利用委員会宛

○第 5 回(昭和 49 年度)三菱財団自然科学研究助成金の募集

自然科学の基礎分野における重要かつ独創的な研究を

助成している本助成金については、理学部関係者は周知の事と思いますので、詳細は省略、応募締切日（5月31日（金））、応募に必要な申込書送付先を記しますので、希望者は直接下記に御連絡下さい。尚今年度は1件3千万以内（5周年につき本年度の2倍に増額）、2件で総額2億円の目標とのことです。

財団法人 三菱財団

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号

三菱ビルディング 15階

電話 東京 (03) 214 局 5754 番

○昭和 49 年度三島海雲記念財団学術奨励金の募集

同財団は、自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、もってその成果の普及を図り、学術文化の向上、国民生活の充実に寄与することを目的としています。自然科学部門では、食品に関連あるものが優先されています。

申込締切期限は3月10日、奨励金は40万～100万円程度。申込書送付先は下記の通りです。

東京都渋谷区恵比寿西 2-20-3

(郵便番号 150) 電話 03-463-2111

財団法人 三島海雲記念財団

注) 上記二財団の必要書類は、中央事務庶務係の浅沼さんの手許にありますから希望者は直接同係へ御連絡下さい。

編集後記: 本月号も執筆者の御協力で、いろいろの研究上の話題をとりあげることができました。執筆者のうち、邵君は、「中国の土地利用」の研究を行っており（大学院博士課程—地理）、George君は、ニュージーランドからの留学生で、「日本のエネルギー問題の政治地理学的研究」をテーマにしている外国人研究生（地理）です。邵君は日本語書下ろしの原文ですが、George君は、英文の原稿であったので、微妙なニュアンスを翻訳することの難しさを考え、敢て原文のままのせました。先号にものべましたごとく、留学生諸君にも時々寄稿して貰いたいと思っていますし、また来学された外国の研究

者の講演要旨などで広報にふさわしいものがあれば、Scienceの世界では最も国際的な言葉になっている英語の場合は、原文で掲載したらどうかと思っております。

次に、毎号お願いしておりますが、一月の教授会で、私共2名の広報委員は、留任ということになりました。つきましては、公器としての性格もかね備える広報の編集について、皆様の忌憚のない御意見を是非伺い、あと一年間の編集の参考にいたしたいと思います。アンケート用紙を配布するのも一方法ですが、諸費節減の折りからさしひかえ、こまめに勝手ですが、適当な用紙で、学内便で、編集委員あてか、あるいは部長室まで、御意見を頂ければ幸甚です。理学部の構成員の御意見ですから必要なれば匿名でも少しもかまいません。具体的には例えば次のようなことがあるかと思ひます。

- 1) 今までの記事でどのようなものが面白かったか（その逆）
- 2) 今までの記事でどのようなものが有益であったか（その逆）
- 3) こういう記事（執筆者、テーマまたは連載物など）をとりあげてほしい。
- 4) こういうニュースがほしい。
- 5) 刊行の頻度、紙質（1月号より紙質を落しました。予算節減のため）、組型などの技術的な注文。
- 6) その他。

以上のお願ひについては特にしめきりは設けません。一週年を迎える新5月号から御意見のあるものは十分考えてゆきたいので、例えば3月中旬位までに、私共におよせ頂ければ幸甚です。もちろん、直接部長室、あるいは私共に口頭で、あるいは電話で御意見をお伝え下さるのも大歓迎です。なお時々口頭で本誌の発行部数を尋ねられますので、余白をかりてお答えしておきます。毎号約2000部、理学部の全構成員（含名誉教授）の他に、総長室、各学部長、中央図書館、農学部、医学部図書館などに配布し、また全国の主要な理学部にも送っています。

○前号の正誤を一つ：3頁右段20行目 一諸に→一緒に

編集：〔小堀 巖（地理） 理2号館205号室 内線6449〕
〔清水 忠雄（物理） 理1号館372号室 内線2783〕